学校番号	3010

令和5年度 国語 科

教科	国語	科目	古典B	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	改訂版　標準古典B　物語選（第一学習社）						
副教材等	常用国語便覧（浜島書店）・要点プラス　体系古典文法（数研出版） 読んで見て覚える　重要古文単語315（桐原書店）・漢文句法・演習ドリル（旺文社）						

1担当者からのメッセージ（学習方法等）

古典を読む楽しさを味わい、作品を通じて、古来の人間、社会、自然などに対する思想や感情を捉え、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め豊かにしていきます。これまでの古典学習を踏まえ、より深い読解をめざします。

2学習の到達目標

・古文、漢文に用いられている語句の意味,用法及び文の構造を理解する。
・作品に現れた表現の特色を理解し、優れた表現に親しむ。
・古典を通して、日本文化の特質や、中国文化に対する関心を深める。

3学習評価 評価 規準 と評価方法

観点	a:関心・意欲・態度	d:読む能力	e:知識・理解	
観点の趣旨	古典を進んで学習し、伝統的な言語文化について理解を深めようとしている。	古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察したり、古典特有の表現を味わったりする態度を身に付けている。	古典を読むために必要な語句の意味、用法、文法、音声、表記などを理解し、知識を身に付けていく。	
評価方法	行動の観察 記述の点検（ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の点検（ノート、ワークシート等） 定期考査	行動の観察 記述の点検（ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト 音読	

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	d	e			
1	日記	蜻蛉日記	○	○	○		a:文章を読み、関心を深め、関心を持って向上を図ろうとする。 d:日記を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 e:文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノート・プリントの整理 定期考査の成績
	物語	平家物語	○	○	○		a:中世の警護や語彙に慣れ親しむ。 d:軍記物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 e:音便や挿入句といった、語り物の特色について理解する。	
	史記	鴻門之会 四面楚歌	○	○	○		a:歴史の中の人間について考える。 d:使役・禁止・反語・仮定・疑問・抑揚・否定・感嘆などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 e:長めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。	
2	物語	大鏡	○	○	○		a:敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 d:歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を読み味わう。 e:「作文」と「和歌」との比較から、我が国の文化と中国の文化との関係について理解する。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノート・プリントの整理 定期考査の成績
	日記	更級日記	○	○	○		a:日記を読んで、作者の思想や感情を読み取り、人間、社会などについて考察する。 d:文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 e:助動詞について理解する。	
	諸家の思想	孟子 老子 荘子 韓非子	○	○	○		a:古代中国の思想から、現代に通ずるものの見方・考え方を知る。 d;本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 e:否定・感嘆・限定・反語・比較などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。	

3	物語	源氏物語	○	○	○		a:和歌を含む物語を読んで、物語における和歌の役割を考える。 d:話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 e:長編物語を読んで、話のおもしろさを理解する。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノート・プリントの整理 定期考査の成績
	不思議な世界	枕中期	○	○	○		a:古代中国人の発想のおもしろさに触れる。 d:本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 e:反語・限定・疑問・感嘆などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。	

※　表中の観点について a: 関心・意欲・態度　　d: 読む能力
e: 知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。